

令和8年第2回町議会定例会 行政報告より

※内容を一部編集しています

(積雪による被害について)

はじめに、町内で発生した雪が原因となる人的被害について報告いたします。

1月29日、千屋地区において、住民が、除雪作業中に亡くなられる事故が発生いたしました。心からお悔みを申し上げます。

2月26日現在、今冬の積雪による人的被害ですが、屋根からの滑落や落雪に巻き込まれるなどして、第1回臨時会で報告いたしました1人に加え2人の方が亡くなられたほか、5人の方が重軽傷を負われております。御怪我をされた方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

1月28日、積雪が90cmを超え、以降も降雪が続く予報であったことから、午前10時に美郷町豪雪対策警戒部を設置し、雪下ろしや除雪に関する注意情報をテレビ回覧板や防災メールなどで発信いたしました。

今冬の積雪状況ですが、平均最大積雪深は1月30日で、105.5cmを観測しております。

(物価高騰への各種支援について)

次に、物価の高騰による影響に対して支援をする各種制度について報告いたします。

要件を満たした住民税非課税世帯等に対して支給する「生活支援緊急助成事業」についてですが、町調査による対象世帯に対し、1月20日付けで手続き書類を送付するとともに、町広報、ホームページ、テレビ回覧板などにより事業の周知を行いました。現在、給付作業を進めておりますが、2月26日現在、1,404世帯に、4,366万4,400円を給付しております。また、本事業の対象外となった世帯に対しては、美郷町生活支援券を1世帯あたり2万5,000円分給付すること

としており、3月中に簡易書留により対象世帯へ送付し、4月1日からの使用開始となります。

全額国の負担により、子ども一人当たり一律2万円を支給する「物価高対応子育て応援手当」の支給状況ですが、1月20日から支給を開始し、2月26日現在、子ども1,769人に対して支給しております。

介護保険施設及び障害者支援施設に対して、光熱水費等及び食材料費を助成する「社会福祉施設等物価高騰対策支援事業」についてですが、2月26日現在、介護保険施設は、23事業者45施設に対して1,350万3,000円、障害者支援施設は、6事業者22施設に対して509万700円の交付決定を行い、支払い手続きを進めております。

ガソリン等エネルギー価格高騰の影響を受けている道路運送事業等を営む事業者に対して、1台当たり1万円を助成する「美郷町運送事業者等エネルギー価格高騰対策支援金」についてですが、2月26日現在、7事業者37台分に対し助成しております。

飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対し助成する「肉用牛畜産経営安定対策事業」、高品質生乳出荷量に応じて酪農経営体に助成する「酪農経営安定対策事業」、燃油価格高騰の影響を受けている施設園芸農家等に対し助成する「施設園芸等燃油支援事業」についてですが、それぞれ2月28日までの対象数量に基づき、3月末までに助成する予定です。

(みさと重点テーマに係る事業について)

次に、第3次美郷町総合計画における「みさと重点テーマ」に係る事業について報告いたします。

「豊かさ実感」についてですが、小中学校の新入学児童生徒の保護者を対象に支給する入学祝金事業については、2月2日より申請書の受付を開始し、支給準備を進めております。

芸術文化推進事業として、1月17日から2月23日まで、学友館にて「秋田県美術展覧会 第23回仙北地域展」を開催し、期間中は680人の方が鑑賞されました。

連携企業スポーツ活動推進事業として、12月6日、総合体育館リリオスを会場に、ヨネックス株式会社社員で、ソフトテニスの国内大会で活躍されている吉田 澪奈（よしだ れな）氏を講師に迎え、ソフトテニス教室を開催し、美郷中学校の男女ソフトテニス部関係者17人が参加しました。

（各課の個別の取り組みについて）

次に、各課の個別の取り組みについて報告いたします。

はじめに、総務課関係ですが、令和8年2月より、町のホームページをリニューアルし、公開いたしました。複雑化した階層をシンプルにしたほか検索機能の強化を図り、より見やすいホームページとなっております。

次に、商工観光交流課関係ですが、2月18日、美郷町総合体育館リリオスにて、日本航空株式会社との連携協力協定に基づく事業「JAL空育®折り紙ヒコーキ教室」を開催し、当日は各認定こども園の5歳児76人が参加しました。

また、2月24日、25日に、同社社員による「地域貢献活動ウインターキャンプ」を開催し、社員10人が来町し、除排雪ボランティア活動のほか、地域体験プログラムとして、スノーシューやわら細工体験などを行いました。

次に、農政課関係ですが、12月22日、地域の食料、特産品、農林水産業、食産業及び農山村の諸問題の解決と発展を図ることを目的として、東北大学大学院農学研究科と連携協力協定を締結いたしました。今後は協力、連携しながら持続可能な地域社会の構築や産業の振興に取り組んでまいります。

米の生産数量の参考指標となる令和8年産米の秋田県の「生産の目安」が提示されたことに伴い、美郷町地域農業再生協議会にて、町の「生産の目安」を前年比1.41ポイント増の59.71%とし、各方針作成者に提示しました。なお、農業者ごとの「生産の目安」の提示は各方針作成者に委ねることとなります。

また、3月19日には、農家の方を対象として、令和8年度の産地交付金の作物別単価等を含め、国、県、町の施策等に関する説明会の開催を予定しております。

次に、建設課関係ですが、12月から2月末までの主な工事発注状況については、舗装補修工事8件、路面標示工事1件を発注いたしました。なお、一般会計では3件の事業について、特別会計では下水道で1件の事業について、事業完了が年度を越えるため、本定例会に関係予算の繰越明許を提出しております。

次に、教育推進課関係ですが、12月8日、美郷中学校にて「鴻鵠の志」育成基金活用事業として、秋田魁新報社 統合編集本部 写真映像グループ長 大久保 瑠衣（おおくぼ るい）氏を講師に迎えた講演会を開催し、美郷中学校の生徒並びに町内3小学校の6年生が参加しました。

12月15日から19日まで、タイ王国アニューラチャプラシット校の生徒12人が来町されました。美郷中学校での授業体験や地域での文化体験、8月にアニューラチャプラシット校に訪問した美郷中学校の生徒やその家族によるホームステイ交流など、さまざまな交流が図られたほか、1月28日には、教育長がタイ王国を訪問し、ノンタブリー県第一初等教育局との教育交流協定を再締結いたしました。これにより、中学校の相互訪問交流を更に3年間継続することに同意しております。

小学校の学校間交流ですが、1月9日・10日に、仙南小学校の児童16人が東京都文京区立千駄木小学校を訪問し、授業や放課後における児童との交流、国立科学博物館の見学などを行いました。